

## 令和7年度 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート

※○数字は「令和7年度（2025年度）みんなで支える森林づくりレポート」の資料番号

【目次】	ページ
① 再造林の加速化	・・・ 1
・ 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の加速化）	
・ 再造林省力化モデル推進事業	
・ 再造林シカ捕獲サポート事業	
② みんなで支える里山整備事業（防災・減災のための里山整備）	・・・ 3
③ 開かれた里山整備事業	・・・ 4
・ 開かれた里山整備事業	
・ 開かれた里山整備・利用事業	
④ 木造・木質化支援事業	・・・ 6
・ 広く県民が利用する施設等の木造・木質化	
・ 木工体験の推進支援	
・ 長野県産材CO2固定量認証	
⑤ 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業	・・・ 8
⑥ 学びと育ちの森づくり推進事業	・・・ 9
⑦ まちなかの緑地整備事業	・・・ 11
⑧ まちなかの緑地整備事業緑地保全（補助）事業	・・・ 12
⑨ 観光地周辺の街路樹整備	・・・ 14
⑩ 森林サービス産業総合対策事業	・・・ 15
・ 森林サービス産業活動支援事業	
・ 森林サービス産業人材育成支援事業	
・ 地球温暖化防止吸収源対策推進事業	
⑪ 信州ネイチャーセンター構築事業	・・・ 17
⑫ 多様な林業の担い手確保育成事業	・・・ 18
・ 林業認知度向上対策事業	
・ 安全福利厚生対策事業	
・ 新規就業者確保促進支援事業	
⑬ 市町村森林整備支援事業	・・・ 20
・ ライフライン等の保全対策	
・ 観光地の景観整備	
・ 緩衝帯の整備	
・ 森林の病虫害被害対策（森林外・未被害市町村被害木処理）	
・ 森林の病虫害被害対策（枯損木の利活用）	
⑭ 河畔林整備事業	・・・ 22
⑮ みんなで支える森林づくり推進事業	・・・ 23

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名等	① 再造林の加速化		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
			実施期間	R5 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	小項目	1 再造林の加速化		

**1 現状と課題**

現状	○ 森林資源は着実に充実してきている一方で、林業が本来持っている「植えて、育てて、伐って、使って、また植える」といったサイクルが必ずしも循環しているといえない状況である。
課題	○ 主伐とその後の再造林を進め、人工林の若返りを図ることが喫緊の課題である。 ○ 森林の高齢級化が進み、CO2吸収能力も長期的に減少することが懸念される。

**2 事業目的及び内容**

2050ゼロカーボンの実現に向け、本県の森林がCO2吸収能力を発揮できるよう若い森林への更新を進める必要があることから、森林所有者の費用負担が大きい主伐後の再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費の10/10を補助し、再造林の加速化を図る。

事業主体	市町村 森林組合 NPO法人等	補助率	10/10 (3/10の嵩上げ)
------	-----------------------	-----	---------------------

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	2,437	0	0	2,437
	当初予算	93,600	174,580	244,860	351,664		864,704
	補正予算			-2,000			-2,000
	合計	93,600	174,580	245,297	351,664	0	865,141
<b>決算額</b>	106,685	140,426	207,109			454,220	R5は一部流用
次年度への繰越 (枠外)	0	0	2,492			2,492	

**4 指標及び達成状況**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	再造林面積	目標	260ha	420ha	580ha	740ha	2,000ha	2,900ha	29%
		実績	247ha	238ha	358ha		843ha		
達成状況・成果等		○ 地形や樹種による収益性などに地域差があること等から、目標面積には及ばなかったものの、前年度より120ha増加し、着実に再造林を進めることができた。また、下刈りや獣害防護施設等の取組を支援し、森林の確実な更新に寄与した。 ○ ニホンジカ等による苗木の被害対策のため、造林地周辺での捕獲対策への支援を実施した。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input type="checkbox"/> 現行どおり実施	① 地形や林分構成が異なることから、主伐・再造林の取組に地域差が生じており、取組が進んでいる地域に十分な予算配分ができていなかった。 ② 再造林が進んでいる地域については、低コスト造林の普及の遅れから費用が掛かり増しとなっていることが課題である。 ③ 再造林が進んでいない地域については、ノウハウ不足による再造林への不安や懸念が大きく、間伐から主伐へ移行が進まないことが課題である。 ④ 再造林推進シカ捕獲サポート事業については、令和6年度に事業を創設以降、事業改善も図りながら運用してきたが、事業実績が伸び悩んだ。	① 要望のある地域に十分な予算配分を行うとともに、急峻な地形により再造林が進まない地域においては再造林等作業を効率化するための架線設置・撤去等に係る支援を引き続き行う。 ② 保育作業の省力化を図るため、省力化機械を導入し効率化を図る取組を引き続き支援する。 ③ 主伐・再造林の経験が少ない林業事業者向けの事例集(長野県主伐・再造林推進ガイドライン<実践編>)を活用して、全県で取組が進むよう普及指導に取り組む。 ④ 国事業で類似の事業があること等から、令和8年度から事業を廃止する。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直して実施		
<input type="checkbox"/> 事業を終了		

県民会議・地域会議等からの意見	○ ○
-----------------	--------

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	①再生林の加速化	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	----------	----	-----	-----	----------

No.	細事業（取組）名				
1	人工造林・初期保育の嵩上げ（信州の森林づくり事業）			予算 230,760 千円	決算 197,115 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果
	補助金	10/10	主伐・再生林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育に必要な標準的な経費への補助を嵩上げし、取組を支援		再生林面積 358ha

No.	細事業（取組）名				
2	再生林省力化モデル推進事業			予算 12,000 千円	決算 7,241 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果
	補助金	定額 9/10	再生林に係る地域差の解消を図るため、急峻な地形が多い地域での再生林等作業を効率化するための架線設置・撤去等に係る取組みを支援併せて、保育作業の作業省力化を図るため、省力化機械を導入し効率化を図る取組を支援		支援件数 10

No.	細事業（取組）名				
3	再生林推進シカ捕獲サポート事業			予算 2,100 千円	決算 316 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果
	補助金	10/10	市町村が組織する「林内捕獲サポート隊」による、ニホンジカの捕獲補助等の活動に要する経費を支援。		支援件数 1件

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	② 信州の森林づくり事業 (みんなで支える里山整備事業)			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
				実施期間	H30 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		小項目	2 防災・減災のための里山整備		

**1 現状と課題**

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球温暖化の影響等で局地的な豪雨等が増加し土砂災害や流木被害等が発生している。</li> <li>○ 水が集まる地形、風化しやすい地質など災害の危険性が高い里山において未整備となっている森林がある。</li> </ul>
課題	○ 各地で頻発している土砂災害や流木被害等を防止するため、間伐等の里山整備を早急に進めることが喫緊の課題である。

**2 事業目的及び内容**

未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援する。  
 <防災・減災のための里山の間伐(第3期までの未整備分) : 概ね1,600ha/5年間>

事業主体	市町村 森林組合 NPO法人等	補助率	9/10※
------	-----------------------	-----	-------

※ 国庫補助を併用する場合には、  
国補助7/10に対し森林税から2/10を嵩上げ

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位:千円)

区分 (単位:千円)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	当初予算	148,200	156,200	141,775	125,600	571,775	
	補正予算	0	0			0	
	合計	148,200	156,200	141,775	125,600	0	571,775
<b>決算額</b>	91,036	118,359	120,646			330,041	
次年度への繰越(枠外)	0	0	0			0	

**4 指標及び達成状況**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	間伐面積	目標	400ha	400ha	527ha	481ha	1,808ha	1,600ha	43%
		実績	160ha	177ha	351ha		688ha		
達成状況・成果等		○ 県外在住の森林所有者との協定締結に日数を要し、現場着手が遅れたことで、年度内に作業が完了しない箇所が発生したこと等により、間伐面積は351haに留まり目標面積を下回った。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input type="checkbox"/> 現行どおり実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協定の締結に係る事務が負担であり、現場着手を遅らせる原因にもなっている。</li> <li>○ 転用制限期間が他事業より長く(10年)、事業実施後の負担感がある等により執行が進んでいない。</li> <li>○ 県外在住の森林所有者への同意取得の遅れ、天候等による作業進捗への影響等により、事業が計画通り進まなかった場所があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業推進のネックとなっていた協定書を補助要件から削除するとともに、事業実施後の転用制限期間を5年間に短縮し、早期の現場着手及び確実な年度内申請を図る。</li> <li>○ 引き続き、各地域の事業者等への説明やヒアリング等により、事業の積極的及び計画的な活用を促す周知を行う。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 見直して実施		
<input type="checkbox"/> 事業を終了		

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	③ 開かれた里山整備・利用推進事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課・森林づくり推進課	
			実施期間	R5 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	3 県民が広く親しめる里山づくり			

### 1 現状と課題

現状	○ 長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」は120地域（R8年4月末現在）となり、地域住民の主体的な参画による里山の整備や利活用が進んでいる一方で、県民等がレクリエーション等で広く親しめる里山が不足している。
課題	○ 里山がもたらす恩恵を広く県民の皆様実感していただくため、多くの県民等が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」の整備や仕組みづくりが必要となっている。

### 2 事業目的及び内容

「里山整備利用地域」の取組を更に進め、多くの県民や県外から長野県を訪れる方が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」の整備と仕組みづくりを支援する。

事業主体	市町村、森林組合、里山整備利用推進協議会等	補助率	3/4~10/10
------	-----------------------	-----	-----------

### 3 予算及び決算額 (森林税のみ)

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0				0	
	当初予算	55,590	79,472	56,346	46,647		238,055	
	補正予算	-21,000					-21,000	
	合計	34,590	79,472	56,346	46,647	0	217,055	
<b>決算額</b>		28,293	77,648	49,808			155,749	
内訳	森林税	28,293	77,648	49,808			155,749	
	国庫支出金						0	
次年度への繰越 (枠外)		0	0				0	

### 4 指標及び達成状況

No.	成果指標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	県民が広く親しめる里山整備利用地域の数	目標	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所		40箇所	50箇所	76%
		実績	16箇所	13箇所	9箇所			38箇所		
達成状況・成果等			<p>○ 先行事例を県内に広く普及するとともに、様々な機会を通じて制度の周知や取組の支援等に努めた結果、3年間（R5～R7）の累計で目標を上回る38地域において「開かれた里山の整備・利用計画」が承認され、「開かれた里山」の整備及び利用に向けた取組が開始された。</p> <p>○ 一方で、「開かれた里山の整備・利用計画」の作成に時間を要し、森林整備の取組を次年度へ延期した箇所も見られた。</p>							

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	① 令和5年度以降に取組を開始した38地域や今後取組を開始する地域において、住民等が主体となり多くの県民等が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」として整備するための取組を引き続き継続することが必要。 ② 県内の「開かれた里山」に関する情報を広く周知し、より多くの県民や県外から長野県を訪れる方の利用につなげることが必要。	「開かれた里山」の整備等に取り組む地域に対して、引き続き森林整備や仕組みづくり、資機材導入等の支援を継続する。 ② ホームページ、イベント等の機会を捉えて先行事例の普及や事例集等の周知・発信を行うことで、多くの県民等の「開かれた里山」の利用につなげる。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	③開かれた里山整備・利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課・森林づくり推進課
-----	------------------	----	-----	-----	------------------

No.	細事業（取組）名					
1	開かれた里山整備事業		予算	32,874 千円	決算	26,340 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	補助金	9/10	開かれた里山内の景観の向上や安全性の確保のため修景林間整備のほか、第3期まで取り組んでいた県民協働による里山整備を実施した箇所の継続的な下刈り等の取組を支援		整備箇所数 11箇所	

No.	細事業（取組）名					
2	開かれた里山の整備・利用推進事業		予算	23,472 千円	決算	23,468 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	補助金	10/10 3/4	「開かれた里山」の仕組みづくりや里山の自立的な整備・利活用に向けた条件整備に要する経費を支援		補助対象地域数 32地域	

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	④ 木造・木質化支援事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
			実施期間	R5 ~	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化		

**1 現状と課題**

現状	○ 地域の森林の持続的管理には、地域で利用する木材を地域で生産する地消地産の取組が重要であるが、県民が県産材に普段から接し、その良さを感じる機会が必ずしも身近にあるとはいえない。
課題	○ 県民が木材と触れ合う機会・場を創出し、県産材利用への意識醸成と木材需要の創出を図ることが喫緊の課題である。

**2 事業目的及び内容**

県民の県産材利用に対する意識醸成を図るため、広く県民が利用する施設の木造・木質化を進め、「あたりまえ」に県産材を利用する環境づくりを進めるとともに、安全・安心に過ごせる子どもの居場所への県産材利用や木工体験活動を支援する。

事業主体	県 民間事業者等	補助率	1/3~3/4
------	-------------	-----	---------

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	4,234	3,973	6,809	0	15,016
	当初予算	40,000	40,000	62,000			142,000
	補正予算	-25,016	-17,131	-32,641			-74,788
	合計	14,984	27,103	33,332	6,809	0	82,228
<b>決算額</b>	10,317	18,439	23,506				
次年度への繰越 (枠外)	4,234	3,973	6,809				

**4 指標及び達成状況**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	木造・木質化等の 箇所数	目標	11箇所	11箇所	11箇所	11箇所	44箇所	55箇所	64%
		実績	7箇所	12箇所	16箇所		35箇所		
達成状況・成果等		○ 広く県民が利用する施設の木造・木質化等の実施箇所について、目標11件のところ、 <b>実績16件</b> と上回った。 ○ 事業の広報に力を入れたことで、県内の新聞における事業箇所の紹介や次年度の募集について問い合わせの増加等、事業の周知が見られ、県民が木材と触れられる場の増加を確認できた。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input type="checkbox"/> 現行どおり実施	○ 県産材の利用に対して訴求性の向上を図るため、より波及効果の高い多くの県民が利用できる中大規模施設にも対応できるよう、事業の支援体制を整える必要がある。	○ 中大規模施設の木造化への支援体制を整えるため、事業者がより利用しやすくなるよう、事業の内容や募集時期、要件等を見直す。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直して実施	○ 木造・木質化により整備された施設について、整備後、より多くの県民が訪れることができるように情報発信を行う必要がある。	○ 県産材を使用した施設の事例について、NAGANOWOODポータルやSNS等の広報による情報発信に努める。また、事業者自らによる県産材PR活動を実施する。
<input type="checkbox"/> 事業を終了	○ さらに一層の事業活用を推進するため、情報発信の方法や発信先を検討する必要がある。	○ 新聞やSNSなど様々な広報媒体により、事業活用が想定される相手方に焦点を絞った情報発信を行う。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	④木造・木質化支援事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-------------	----	-----	-----	----------

No.	細事業（取組）名					
1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化		予算	59,900 千円	決算	21,808 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	補助金 直接	1/3～2/3 -	広く県民が利用する施設や子どもの居場所において、県内の施設の木造・木質化等の支援・推進		実施箇所数 16件	

No.	細事業（取組）名					
2	木工体験の推進支援		予算	1,500 千円	決算	1,500 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	補助金	3/4	小中学生等を対象とする県内で行う木工教室、木工工作に関するコンクール開催への支援		参加人数 3903	

No.	細事業（取組）名					
3	長野県産材CO2固定量認証制度		予算	600 千円	決算	198 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	直接	-	県産材を使用した建築物等のCO2固定量を認証し、認証証書を発行することで「県産材利用の環境貢献度」を周知する機会とし、県産材利用や森林づくり県民税の普及啓発を行った。		認証件数 11	

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑤ 信州やまほいく認定団体保育環境等向上事業		部局	こども・若者局	課・室	こども・家庭課
			実施期間	H30 ~	E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等		

**1 現状と課題**

現状	○ 県独自の制度である「信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度」の認定園において、安心・安全に子どもたちが活動するためのフィールド等環境整備を求める声が事業者・保護者ともに多く寄せられている。
課題	○ 認定園において、森林での保育・教育活動の安全性確保や、教育環境を充実させることが必要。

**2 事業目的及び内容**

信州やまほいく認定園で使用する森林で行う森林の整備やそれと合わせて行う付帯施設の整備に係る取組を支援

- ・森林整備（林間整備、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、危険木の除去、倒木・折損木処理）
- ・付帯施設（東屋の設置、チップ敷き、歩道整備等）

事業主体	市町村、学校法人、NPO法人等 (信州やまほいく認定団体設置者)	補助率	9/10 フィールド整備 1/2 付帯施設整備
------	-------------------------------------	-----	----------------------------

**3 予算及び決算額（森林税のみ）**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	
	当初予算	5,800	6,000	6,000	6,328		24,128	
	補正予算						0	
	合計	5,800	6,000	6,000	6,328	0	24,128	
<b>決算額</b>		5,800	5,672	5,724	0	0	17,196	
内訳	森林税	5,800	5,672	5,724			17,196	
	国庫支出金						0	
次年度への繰越（枠外）		0	0					

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	フィールド整備箇所数	目標	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	32箇所	40箇所	58%
		実績	8箇所	7箇所	8箇所		23箇所		
達成状況・成果等		○ 要望があった8園でフィールド整備8箇所、付帯施設整備2箇所を実施した。 ○ 自然保育を行う上で障害となっている危険木の除去や、落下の恐れのある枝の剪定を行うことにより、子どもたちが安全に自然体験活動を行うことができるようになった。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	○ 自然保育の環境を整備するうえで有利な補助事業であるため、今後も引き続きやまほいく認定園に対し、制度の周知を行い、制度の普及促進につなげる必要がある。	○ より有効に整備されたフィールドが活用されるよう、早期の事業募集等に努める。 ○ より多くの認定園でのフィールド整備が進むよう、引き続き事例共有や情報発信等に努める。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	⑥ 学びと育ちの森づくり推進事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
			実施期間	H30 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等			

### 1 現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校林等の教育に身近な森林の手入れが十分行き届いていない等により、子どもたちの森林体験学習のフィールドが十分に確保されていない。</li> <li>○ 森林体験学習等を安全かつ効果的に実施するための体制やノウハウも十分ではない。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが安全に学習できる森林のフィールド確保が必要。</li> <li>○ 効果的な体験学習を実施できる体制の構築が必要。</li> </ul>

### 2 事業目的及び内容

森林に囲まれた環境で育つ長野県の子どもたちが、森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりの土台となる豊かな原体験や知識を得られるよう、学校林や地域の里山等の身近な森林の活用を推進する。

事業主体	市町村 学校法人 NPO法人等	補助率	9/10～10/10
------	-----------------------	-----	------------

### 3 予算及び決算額 (森林税のみ)

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	
	当初予算	6,230	8,710	6,500	5,490		26,930	
	補正予算	0					0	
	合計	6,230	8,710	6,500	5,490	0	26,930	
<b>決算額</b>		5,641	7,683	6,105			19,429	
次年度への繰越 (枠外)		0	0				0	

### 4 指標及び達成状況等

No.	成果指標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	学校林整備等の実施箇所数	目標	10箇所	5箇所	6箇所	7箇所		28箇所	35箇所	80%
		実績	19箇所	5箇所	4箇所			28箇所		
達成状況・成果等			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10校の学校林で危険木の伐採や除間伐等の森林整備を行い、児童・生徒が森林内で安全に活動できるフィールドが確保された。</li> <li>○ 整備後の学校林での活動に必要な資機材の導入や指導者の受入を15校（県立5、その他10校）で行い、効果的な活動の機会が広がった。</li> <li>○ 多くの学校林で森林環境教育の活動が展開されたことで、目標（R5～R7累計）を達成した。</li> </ul>							

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施  <input type="checkbox"/> 見直して実施  <input type="checkbox"/> 事業を終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担当教員の異動等に伴い、森林環境教育の継続が困難となる場合があり、継続的な活動に向けた地域ぐるみの体制構築が必要。</li> <li>○ 森林環境教育に取り組む学校数は増加しており一定の成果が認められる一方、全体として十分な広がりには至っておらず、取組の一層の普及が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の団体等が事業主体となることで活動が定着している地域もあり、森林環境教育の継続的な実施が期待される。</li> <li>○ 引き続き、森林環境教育に取り組む学校と地域の団体等との連携を進め、地域ぐるみで継続的な活動が可能な体制構築を図る。</li> </ul>

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	⑥学びと育ちの森づくり推進事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
No.	細事業（取組）名						
1	森林環境教育フィールドの整備（除間伐・危険木伐採等）			予算	2,370	決算	2,938
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
補助金	9/10	森林環境教育活動の実施に必要な森林整備、施設の設置及び簡易設備の導入を支援した。（※うち、No2森林環境教育活動への支援との重複箇所 7箇所）				実施箇所数	10
No.	細事業（取組）名						
2	森林環境教育活動への支援（資器材の導入、指導者の派遣）			予算	2,010	決算	1,285
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
補助金	10/10	森林環境教育活動を実施するために必要な資器材の導入及び指導者の受入を支援した。（※うち、No1森林環境教育への支援との重複箇所 7箇所）				実施箇所数	10
No.	細事業（取組）名						
3	県立学校での森林環境教育フィールド整備及び資器材の導入・指導者の派遣			予算	2,120	決算	1,883
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
直接	-	森林環境教育活動の実施に必要な森林整備、施設の設置及び簡易設備の導入、資器材の導入及び指導者の受入を実施した。（資器材・指導者派遣5校）				実施箇所数	5

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑦ まちなかの緑地整備事業		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
			実施期間	H30 ~	E-mail	<a href="mailto:toshikouen@pref.nagano.lg.jp">toshikouen@pref.nagano.lg.jp</a>
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	6 まちなかの緑・街路樹の整備		

**1 現状と課題**

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市街地においても景観や環境への配慮の観点から木々に親しめる緑化整備を集中的に推進することが求められている。</li> <li>○ ヒートアイランド現象や大気浄化などが問題となっており、市街地の緑化による生活環境の保全も求められている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市街地等の土地を活用した、地域住民等が利用する身近な緑地の整備が必要。</li> </ul>

**2 事業目的及び内容**

都市において緑地を保全するとともに緑化を推進することにより良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与するため、市町村及び民間団体等が行う森林を身近に感じられる市街地の緑化整備等に対する経費に対し、森林税を活用した補助による支援を行う。

事業主体	市町村 民間団体等	補助率	市町村 1/2 民間団体等 1/3
------	--------------	-----	----------------------

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0		0	
	当初予算	6,000	4,000	4,000	3,000		17,000	
	補正予算	0	0				0	
	合計	6,000	4,000	4,000			17,000	
<b>決算額</b>		1,000	4,000	3,820			8,820	
次年度への繰越 (枠外)		0	0				0	

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	緑地整備箇所数	目標	2箇所	2箇所	5箇所	2箇所	11箇所	10箇所	80%
		実績	1箇所	2箇所	5箇所		8箇所		
達成状況・成果等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5箇所の緑地整備を実施し、目標以上の成果を上げるとともに、魅力的な緑地の創出により都市の魅力向上に寄与した。</li> </ul>							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緑地整備する土地の確保、土地所有者との調整、整備後の維持管理について、地元調整に時間を要する傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都市化や住宅地など開発が多い用途地域内において、緑地を確保することにより、生活環境の保全・向上を図ることができた。</li> <li>○ 事業の必要性、維持管理方法等について、説明会等により地元合意形成を得たうえで、計画的な事業実施を図る。</li> </ul>

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑧ まちなかの緑地保全(補助)事業		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
			実施期間	R5 ~	E-mail	<a href="mailto:toshikouen@pref.nagano.lg.jp">toshikouen@pref.nagano.lg.jp</a>
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	6 まちなかの緑・街路樹の整備		

**1 現状と課題**

現状	○ 都市化の進展により、県内の用途地域内の緑被率が1997年から2016年までの20年間で16.8%減少している。
課題	○ まちなかにおける都市機能の充実は、コンパクトシティを推進するためにも欠かせないが、緑地の減少や維持管理費等の課題から緑地の機能が有効に活用されていない。

**2 事業目的及び内容**

令和3年に策定した「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」に基づき、緑地が持つ多様な機能をまちづくりへ活用するため、街路樹をはじめとする緑地を適切に保全し、緑陰による歩行空間の快適性や良好な景観形成など緑地が持つ多様な機能を有機的に活用する。

事業主体	県市町村	補助率	県市町村 1/2
------	------	-----	----------

**3 予算及び決算額(森林税のみ)**

(単位:千円)

区分(単位:千円)		R5	R6	R7	R8	R9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0		0	
	当初予算	12,000	13,690	17,840	17,890		61,420	
	補正予算	0	0	0			0	
	合計	12,000	13,690	17,840			61,420	
<b>決算額</b>		10,031	13,671	17,778			41,480	
次年度への繰越(枠外)		0	0	0			0	

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R5	R6	R7	R8	R9	合計	目標値(R9)	第4期目標達成率
①	緑地の保全延長	目標	6.4km	6.4km	6.4km	6.4km	25.6km	32.0km	57%
		実績	4.5km	6.2km	7.5km		18.2km		
達成状況・成果等		○ 請負差金を活用して対象路線の一部を追加施工したため、剪定延長が増加した。 ○ 街路樹剪定を実施することにより、緑陰の確保や良好な樹形保全に寄与した。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	○ さらなる良好なまちなみ空間確保のため、グリーンインフラ推進計画のエリアビジョンを拡大させる必要がある。	○ まちなかの緑地を適切に保全し、街路樹の緑陰による快適な空間や景観形成が進められるよう、市町村と連携してエリアビジョンの見直しに向けた検討を進め、グリーンインフラの保全に引き続き取り組む。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	⑧まちなかの緑地保全（補助）事業	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課
-----	------------------	----	-----	-----	-----------

No.	細事業（取組）名					
1	まちなかの緑地保全事業		予算	14,800 千円	決算	14,800 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	直接	-	「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」に基づき緑地が持つ多様な機能をまちづくりへ活用するため、県が管理する街路樹の保全を実施		整備延長 3.8	

No.	細事業（取組）名					
2	まちなかの緑地保全補助事業		予算	3,040 千円	決算	2,978 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容		成果	
	補助金	1/2	「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」に基づき緑地が持つ多様な機能をまちづくりへ活用するため、市町村が管理する街路樹の保全を支援		整備延長 3.7	

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑨ 観光地周辺の街路樹整備		部局	建設部	課・室	道路管理課
			実施期間	H30 ~	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	小項目	6 まちなかの緑・街路樹の整備		

**1 現状と課題**

現状	○ 本県が目指す世界水準の山岳高原リゾート構築のためには、本県の強みである豊かな自然を活かした観光地の魅力向上が不可欠。
課題	○ 観光地の魅力向上に向けた主要道路沿線の景観整備が必要。

**2 事業目的及び内容**

山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施する。

事業主体	長野県	補助率	-
------	-----	-----	---

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	
	当初予算	10,000	10,000	10,000	10,000		40,000	
	補正予算						0	
	合計	10,000	10,000	10,000	10,000	0	40,000	
<b>決算額</b>		10,000	10,000	10,000			30,000	
次年度への繰越 (枠外)		0	0	0			0	

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	整備延長	目標	4.0km	5.8km	4.0km	4.5km	18.3km	20.0km	66%
		実績	3.4km	5.8km	4.0km		13.2km		
達成状況・成果等		○ 諏訪湖など観光地周辺の街路等をはじめ、ビューポイント整備に資する街路樹整備を実施し、観光地の魅力向上に繋がった。							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	○ 観光地周辺の街路樹整備について、交通量が多いため、通行への影響を考慮して実施区間の精査を行った。	○ より良い景観の整備に繋がるよう、専門家の意見を聞きながら、街路樹の適正な維持管理に努める。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	⑩ 森林サービス産業総合対策事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課・森林づくり推進課	
			実施期間	R5 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp shinrin@pref.nagano.lg.jp	
基本方針に示す項目	大項目	Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	小項目	7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援			

### 1 現状と課題

現状	○ 近年、森林空間を健康・教育・観光分野において活用する「森林サービス産業」は、山村地域の活性化策として期待されている。
課題	○ 本県の豊かな森林を維持していくためには地域による自立的・持続的な森林の利活用が必要である。 ○ 森林所有者の関心の低下等により、森林との関わりが希薄になっている。 ○ 本県の魅力である里山の有効活用のため、地域の里山への関心向上を図る必要がある。

### 2 事業目的及び内容

森林の多面的な利活用を推進するため、健康・教育・観光分野の森林整備等に係る費用の支援や、企業との連携による森林整備の推進、森林セラピーに携わる人材の育成など、地域における主体的な活動を支援する。

事業主体	長野県市町村等	補助率	- 1/2 ~ 9/10
------	---------	-----	-----------------

### 3 予算及び決算額 (森林税のみ)

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	1,740	0	0	0	1,740	
	当初予算	19,933	31,103	29,754	31,397		112,187	
	補正予算	-1,200	-1,000	0			-2,200	
	合計	18,733	31,843	29,754	31,397	0	111,727	
決算額		16,604	27,999	26,947			71,550	
次年度への繰越 (枠外)		1,740	0	0			1,740	

### 4 指標及び達成状況等

No.	成果指標		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	森林サービス産業により 組む地域プロジェクト数	目標	10PJ	10PJ	10PJ	10PJ		40PJ	50PJ	60%
		実績	10PJ	10PJ	10PJ			30PJ		
達成状況・成果等		※ PJ：「プロジェクト」の略。 ○ 森林空間・施設整備に係る補助、創業や活動の拡大のノウハウを学ぶ各種セミナーなどの活動支援や森林を核にした地域の魅力発信を行える人材の育成により、意欲的に森林サービス産業に取り組もうとする地域を掘り起こすことができた。								

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	① 森林サービス産業に携わる者の裾野を拡大するためには、事業者、利用者等の主体が交流し、情報交換を行える場が必要。 ② 新たに森林サービス産業に取り組む際には、起業や森林の利活用に関するノウハウが不足。起業に係る費用負担が大きいの。	① 「信州森林サービス産業推進ネットワーク」により事業者や起業に関心のある者等、多様な主体が交流し情報交換を行える場を作り、森林利活用に携わる者の裾野拡大を図る。 ② 起業に関するセミナーの開催、専門家派遣による伴走支援、起業時の費用の補助など、新たな森林サービス産業の創出を支援する。

県民会議・地域会議等からの意見	○ 森林浴発祥の地である赤沢自然休養林を有している長野県として、森林浴を新産業として世界に打ち出していこうという意気込みを持って産業創出をして欲しい
-----------------	--

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	⑩森林サービス産業総合対策事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課・森林づくり推進課	
No.	細事業（取組）名						
1	森林サービス産業活動支援事業（森林空間整備・施設整備）			予算	14,900	決算	14,561
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	9/10以内 又は 1/2以内	森林セラピー等の安全性と利便性の向上のため、施設整備（歩道の補修、看板の設置等） 修景林整備（支障木等の伐採）に係る経費を支援				整備箇所数 11箇所
No.	細事業（取組）名						
2	森林サービス産業活動支援事業（創業・地域活動支援）			予算	8,087	決算	6,663
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	委託	-	森林空間の利活用を促進するため、創業を検討する地域や活動における課題を抱える地域に 対し、専門家の派遣や創業等に係る経費の補助などにより活動を支援				専門家派遣・創業支援 24件
No.	細事業（取組）名						
3	森林サービス産業活動支援事業（企業連携活動）			予算	1,142	決算	418
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	直接	-	新規契約の締結に向けて企業との協議を行うなど、企業のニーズを踏まえて地域とのマッチング を促進				契約件数 4件
No.	細事業（取組）名						
5	森林サービス産業人材育成支援事業			予算	5,335	決算	5,228
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	委託	-	森林の活用に主体的に取り組める人材を育成するため、森林のガイドや森林を活用して地域 を活性化させるコーディネーター、地域の里山の利活用や「開かれた里山」における活動を支援す る人材を育成する研修を実施				育成研修 35回
No.	細事業（取組）名						
6	地球温暖化防止吸収源対策推進事業			予算	290	決算	77
					千円		千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	直接	-	森林の里親促進事業で里親契約されている企業が実施した森林施業（間伐及び植林）に よる森林のCO2吸収量の認証を実施。				CO2吸収量 3,375 t -CO2

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑪ 信州ネイチャーセンター構築事業		部局	環境部	課・室	自然保護課
			実施期間	H30 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	小項目	7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援		

**1 現状と課題**

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の強みである豊かな森林資源や森林空間を維持していくために、地域による自立的・持続的な森林の利活用が必要。</li> <li>○ 森林資源を有効に活用し、観光や環境、教育等の他産業と結び付け、地域を支える多様な産業や交流を創出するとともに、環境保全の意識向上につなげることができる人材を育成することが必要。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林資源・空間の保護と利用の両立を目指す「エコツーリズム」の普及と定着に取り組むガイド人材の育成。</li> </ul>

**2 事業目的及び内容**

森林をはじめとした自然環境を持続的に活用するため、中長期的に質の高いサービスを提供できるエコツーリズムガイドを育成する必要があることから、エコツーリズムガイドの人材育成を目的とした研修を実施。

事業主体	長野県	補助率	-
------	-----	-----	---

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	
	当初予算	1,900	2,000	2,000	2,000		7,900	
	補正予算	0	0				0	
	合計	1,900	2,000	2,000	2,000	0	7,900	
<b>決算額</b>		1,900	1,999	1,999			5,898	
次年度への繰越 (枠外)		0	0					

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	エコツーリズムガイドの育成人数	目標	5人	5人	5人	5人	20人	25人	80%
		実績	6人	8人	6人		20人		
達成状況・成果等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エコツーリズムガイドの人材育成を目的とした研修を実施し、参加者30名のうち中長期的な活動が見込める世代の参加が6名あった。</li> <li>○ 実践的な技術や知識の習得に加え、共通の目的意識を持った参加者との交流を通して、エコツーリズムガイドとして活動する将来像が具体化した、または契機となったという意見が多くあったことから、短期間でも効果的な研修になった。</li> </ul>							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中長期的な活動が見込める世代のガイド人材の裾野を拡大に一定の効果は認められた。</li> <li>○ 講師による実践的な技術や知識の習得に加え、自然公園等の利用実態を反映したカリキュラムの構築が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの実施を通じて得られた成果や課題を踏まえ、研修内容の一部見直しや構成の工夫を行い、より実効性の高い研修となるよう取り組む</li> </ul>

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)**

事業名	⑫ 多様な林業の担い手確保育成事業			部局	林務部	課・室	信州の木活用課
				実施期間	R5 ~	E-mail	rin-ninaite@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	小項目	8 多様な林業の担い手の確保・育成			

**1 現状と課題**

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の林業を専攻分野に持つ高校では、募集定員に達せず再募集を実施することも多く、将来の就林人口の確保と定着率のアップにつなげるためには、将来の職業を意識し始める中学生に対して職業としての林業を浸透させていくことが必要である。</li> <li>○ 多様化する森林へのニーズに対応し、山村地域の交流人口の増加を図るとともに、将来の林業就業者となり得る理解者の裾野の拡大に向けた支援策が必要である。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育面からみると、小学校学習指導要領では「森林」を環境面で捉え取り上げられている一方で、中学校では森林や林業を学ぶカリキュラムがない。</li> <li>○ 小規模で地域の需要に柔軟に対応できる個人事業者等は、林業への新規参入が比較的容易で、他産業との兼業などにより、地域の林業を支える重要な担い手となり得るが、支援策が手薄となっている。</li> </ul>

**2 事業目的及び内容**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内中学校に対する林業職場体験を推進していくため、実態調査の実施や説明会の開催及び中学生向けの動画教材作成等の実施に向けた支援</li> <li>○ 将来の林業就業者となり得る理解者の裾野拡大に向けた林業の認知度向上を目的としたイベント等の開催</li> <li>○ 地域の需要に柔軟に対応できる個人事業者等が実施する安全装備の導入及び福利厚生に対する取組、新規就業者の確保促進に向けた就業準備や就業前体験等、他産業との兼業等の連携活動の支援</li> </ul>			
事業主体	県 長野県林業労働力確保支援センター	補助率	10/10以内

**3 予算及び決算額 (森林税のみ)**

(単位：千円)

区分 (単位：千円)	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	
	当初予算	11,530	18,953	20,768	15,091	66,342	
	補正予算	-5,000	-6,816	-7,620		-19,436	
	合計	6,530	12,137	13,148	15,091	0	46,906
<b>決算額</b>	5,432	11,455	9,793			26,680	
次年度への繰越 (枠外)	0	0				0	

**4 指標及び達成状況等**

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	第4期目標達成率
①	多様な林業に関わる新規就業者数	目標	40人	40人	40人	40人	160人	200人	30%
		実績	35人	25人	調査中		60人		
達成状況・成果等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な林業に関わる新規就業者数は目標達成に至らなかったが、全体の林業就業者数は5年連続で増加となり、令和6年度から新規拡充した支援策の浸透がみられた。</li> <li>○ 林業の認知度向上対策においては、将来林業の理解者となり得る裾野拡大を図る取組として、子ども・若者を中心に広く林業をPRする機会となった。</li> </ul>							

**5 今後の取組の方向性等**

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input type="checkbox"/> 現行どおり実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の活用について「慣れない事務の負担が大きい」という声がみられた。</li> <li>○ 制度の認知が広がりつつあるものの、より広く継続的な情報発信に注力する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業要件等を見直しながら引き続き支援制度を継続するとともに、整備した林業の情報を統一的に発信するプラットフォームを活用し、林業の認知度向上に向けた取組を強化する。</li> <li>② 農業と林業との連携や外国人材を活用したモデル的な取組みも見られ、林業への多様な関わり方による担い手確保に向けた支援に取り組みを継続する。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 見直して実施		
<input type="checkbox"/> 事業を終了		

県民会議・地域会議等からの意見	○ ○
-----------------	--------

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	⑫多様な林業の担い手確保育成事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
No.	細事業（取組）名						
1	林業認知度向上対策（林業職場体験）			予算	2,156 千円	決算	2,090 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	委託	-	○県内中学校（南信地区52校）に対する林業職場体験等の実態調査の実施及び林業事業者に対する林業職場体験推進に向けた説明会の開催 ○林業職場体験の実施に向けた支援として、中学生向けの動画教材を作成				実態調査 52校
No.	細事業（取組）名						
2	林業認知度向上対策（支援センター補助）			予算	3,485 千円	決算	3,520 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	10/10以内	○認知度向上を目的としたイベント等でのPR活動 ○林業に関する情報を一元的に発信するためのプラットフォームの改修等の広報活動				PRイベント実施 3件
No.	細事業（取組）名						
3	新規就業者確保促進支援			予算	7,070 千円	決算	1,611 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	10/10以内	○多様な林業の担い手が新規就業者を雇用した際に資機材等を準備する経費を支援 ○他産業からの受入れ（兼業）や林福連携に取り組む事業体を支援 ○インターンシップ等の就業前体験に係る参加者の旅費や宿泊費、受入れ事業体を支援				就業前体験等支援 9社9人
No.	細事業（取組）名						
4	安全福利厚生対策			予算	2,581 千円	決算	697 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	10/10以内	多様な林業の担い手が取り組む安全装備の導入及び振動病特殊健診の受診や蜂アレルギー検査受診、退職金共済制度への加入等に対して支援				安全装備の導入 17名
No.	細事業（取組）名						
5	外国人材就林検討事業			予算	332 千円	決算	115 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	直接	-	県内事業体、市町村、県職員向けに外国人材の受入れに関する勉強会の開催（26者46名）				勉強会の開催 1回
No.	細事業（取組）名						
6	一人多役による林業連携事業			予算	3,300 千円	決算	1,760 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	委託	-	林業への参入を希望する者や、受入を希望する林業事業体に対し、マッチングの相談・対応や、関係団体が立ち上げるHPの活用等の助言等についてコーディネートし、スムーズな受発注実施を支援				コーディネート事業体 5件

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	⑬ 市町村森林整備支援事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	R5 ~	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		小項目	9 ライフライン等保全対策 他

### 1 現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 倒木によるライフラインへの被害による停電や交通への影響の他、野生鳥獣による人身事故等が発生しており、県民生活に影響を与えている。</li> <li>○ 手入れの遅れや森林病害虫被害等による観光地の魅力低下や、病害虫による枯損木が処理できず放置されている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ライフライン等を保全するための予防的な森林の整備・対策や野生動物が出没しない森林環境の整備が必要</li> <li>○ 観光地の魅力向上に向けた森林整備の推進や国庫補助対象外の森林病害虫被害・枯損木への対策が必要</li> </ul>

### 2 事業目的及び内容

ライフライン沿いの森林整備や緩衝帯の整備、病害虫被害対策等、各地域の住民生活に直結する個別の課題に対して、地域の実状に精通した市町村がきめ細やかな対応を行う必要があることから、市町村が実施する個別の課題解決に向けた森林整備の取組を支援する。

事業主体	市町村	補助率	1/2~9/10
------	-----	-----	----------

### 3 予算及び決算額 (森林税のみ)

(単位：千円)

あ		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0		0	
	当初予算	166,512	175,300	166,300	202,000		710,112	
	補正予算	-6,962					-6,962	
	合計	159,550	175,300	166,300	202,000	0	703,150	
<b>決算額</b>		148,415	172,626	169,914			490,955	
次年度への繰越 (枠外)		0	0				0	

### 4 指標及び達成状況

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値 (R 9)	達成率
①	ライフラインの保全 箇所数	目標	50箇所	30箇所	20箇所	30箇所	130箇所	190箇所	81%
		実績	59箇所	49箇所	45箇所		153箇所		
②	観光地の景観整備 箇所数	目標	20箇所	20箇所	20箇所	20箇所	80箇所	100箇所	73%
		実績	28箇所	20箇所	25箇所		73箇所		
③	緩衝帯の整備 箇所数	目標	20箇所	38箇所	35箇所	34箇所	127箇所	150箇所	65%
		実績	20箇所	37箇所	40箇所		97箇所		
④	森林病害虫の 被害木処理材積	目標	1,080m <sup>3</sup>	1,080m <sup>3</sup>	800m <sup>3</sup>	520m <sup>3</sup>	3,480m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>	23%
		実績	471m <sup>3</sup>	470m <sup>3</sup>	298m <sup>3</sup>		1,239m <sup>3</sup>		
⑤	森林病害虫の 枯損木利活用材積	目標	2,000m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>	2,800m <sup>3</sup>	2,300m <sup>3</sup>	9,100m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>	52%
		実績	832m <sup>3</sup>	2,123m <sup>3</sup>	2,200m <sup>3</sup>		5,155m <sup>3</sup>		
達成状況・成果等		①~③ 概ね目標以上の箇所での対策を実施。ライフライン沿いの危険木や緩衝帯等が整備され、住民の生活に身近な森林が与えている不安の解消に寄与した。 ④ 森林病害虫被害を受けている市町村での被害拡大対策に柔軟に活用されたが、処理量は想定を下回り、目標を達成しなかった。 ⑤ 松くい虫被害やナラ枯れ等による枯損木について対策が行われ、バイオマス利用等の有効活用に繋がった。処理量は前年度を上回った一方で、想定を下回り目標を達成しなかった。							

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input type="checkbox"/> 現行どおり実施  <input checked="" type="checkbox"/> 見直して実施  <input type="checkbox"/> 事業を終了	① 野生動物による人身事故や台風等で発生した倒木によるライフライン被害の発生を受け、事業ニーズが以前として高い。  ② 対象とする森林での病害虫被害の発生量が想定より少なく、実績は目標を下回っている。	① ニーズの増加を踏まえ、各市町村の状況を詳細に聞き取りながら、取組を加速化するために計画を前倒して早期に実施することを含めて検討する。

県民会議・地域会議等からの意見	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-----------------	--

細事業一覧（令和7年度実施事業分）

事業名	⑬市町村森林整備支援事業		部局	林務部	課・室	森林政策課	
No.	細事業（取組）名						
1	ライフライン等の保全対策			予算	40,000 千円	決算	50,297 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	9/10	電線や道路などのライフラインへ被害を与える危険性の高い立木の伐採に係る経費を支援				整備箇所数 45箇所
No.	細事業（取組）名						
2	観光地の景観整備			予算	24,300 千円	決算	20,683 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	9/10	観光地等の修景林間整備や眺望確保のための伐採などの地域の魅力向上を図るために実施する森林整備に要する経費を支援				整備箇所数 25箇所
No.	細事業（取組）名						
3	緩衝帯の整備			予算	28,000 千円	決算	32,361 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	9/10	野生鳥獣による被害を防止するために行う、林内の除伐や刈り払い等による緩衝帯の整備に要する経費を支援				整備箇所数 40箇所
No.	細事業（取組）名						
4	森林の病害虫被害対策 （森林外・未被害市町村被害木処理）			予算	15,300 千円	決算	9,488 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	1/2	国庫補助の対象とならない森林外で確認された松くい虫被害木や未被害市町村での松くい虫被害木に係る伐倒駆除に要する経費を支援				処理量 298m3
No.	細事業（取組）名						
5	森林の病害虫被害対策（枯損木の利活用）			予算	58,700 千円	決算	57,085 千円
	実施方法	補助率	令和7年度実施内容				成果
	補助金	9/10	森林病害虫により被害を受け枯損した木を伐採・搬出し、チップ等として有効活用する取組に要する経費を支援				利活用材積 2200m3

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	⑭ 河畔林整備事業			部局	建設部	課・室	河川課
				実施期間	H30 ~	E-mail	kasen-chisui@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		小項目	10 河川沿いの支障木等伐採		

### 1 現状と課題

現状	○ 河川区域に隣接する河川区域外（民地）の立木地（河畔林）は、所有者の手入れが行き届かず、密生した細く倒れやすい木が豪雨時に流れて、橋梁部で川をせき止めるなど、洪水被害の発生や拡大の要因となる恐れがある。
課題	○ 洪水被害の発生や被害拡大を防止するため、河川へ倒木・流出する恐れのある立木等の除去が必要

### 2 事業目的及び内容

洪水時の流出木を減らすことで、洪水被害を未然に防止・軽減するため、河畔林における除間伐を実施する市町村の取組を支援する。			
事業主体	市町村	補助率	1/2

### 3 予算及び決算額（森林税のみ）

（単位：千円）

区分（単位：千円）		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0		0	
	当初予算	39,375	40,050	42,480	40,050		161,955	
	補正予算	0					0	
	合計	39,375	40,050	42,480			161,955	
<b>決算額</b>		38,510	40,050	42,480			121,040	
次年度への繰越（枠外）		0	0				0	

### 4 指標及び達成状況等

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値（R 9）	第4期目標達成率
①	整備箇所数	目標	14箇所	14箇所	17箇所	14箇所	59箇所	85箇所	65%
		実績	19箇所	18箇所	18箇所		55箇所		
達成状況・成果等		○ 伐採木の薪材利用やチップ化などの有効活用により処理コストの縮減を図り、効率的に事業を執行することで、目標以上の箇所での河畔林整備を実施し、地域の抱える水害リスクの軽減に寄与した。							

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施 <input type="checkbox"/> 見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を終了	○ より効果的な事業実施につなげるには事業箇所の選定が重要であり、洪水被害の発生・拡大要因となる恐れが大きく、緊急性の高い箇所の選定に際して、市町村への支援・協力が必要。	○ 被害発生のリスクのある箇所は各地に存在することから、市町村と連携し、引き続き目標達成に向けて取り組む。

県民会議・地域会議等からの意見	○
-----------------	---

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート (令和7年度事業)

事業名	⑮ みんなで支える森林づくり推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	H20 ~	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
基本方針に示す項目	大項目	V 普及啓発、評価検証		小項目	13 森林づくりを推進するための普及啓発、森林税事業の評価・検証

### 1 現状と課題

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県政アンケートでは、森林税の用途が分からないと回答した方が74%に及び、特に若年層の理解が広がっていない。</li> <li>○ 県民会議、各圏域での地域会議等による森林税活用事業の評価・検証を実施。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林税に関する県民の理解を一層広げ、特に理解が薄い層への効果的な広報が必要。</li> <li>○ チェック機能を強化しつつ、引き続き県民会議・地域会議による森林税活用事業の評価・検証が必要。</li> </ul>

### 2 事業目的及び内容

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林の役割や森林づくりの重要性等について県民の理解を深めるとともに、森林づくりの取組が進むよう、様々な媒体やイベントなどによる広報及び森林税の見える化を図るため、地域の実状に応じた広報・普及啓発を実施。</li> <li>○ 森林税活用事業の内容や実施結果の評価検証に対して意見を聴くため、県民会議及び地域会議を開催。</li> </ul>		
事業主体	県	補助率	-

### 3 予算及び決算額 (森林税のみ)

(単位：千円)

区分 (単位：千円)		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	備考
予算額	前年度繰越	0	0	0	0		0	
	当初予算	8,200	8,526	7,128	7,971		31,825	
	補正予算	0					0	
	合計	8,200	8,526	7,128	7,971		31,825	
<b>決算額</b>		6,005	6,706	6,023			18,734	
次年度への繰越 (枠外)		0	0				0	

### 4 指標及び達成状況等

No.	成果指標	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計 (R7)	目標値 (R 9)	達成率 (R6)
①	森林税の用途 認知度	目標	40%	40%	40%	40%	-	40%	65% 
		実績	13%	26%	26%		26%		
達成状況・成果等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域情報誌やイベント開催、看板等の物品製作・設置によるPRなど、様々な方法で森林税の用途の認知度向上が図られるよう努めたが、森林税の用途の認知度は前年度から大きな改善はなかった。</li> <li>○ 一方で、森林税の名称の認知度は向上しており、県民の約6割が名称を知っているという結果となった。</li> </ul>							

### 5 今後の取組の方向性等

方針	課題・要因分析	評価・今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり実施  <input type="checkbox"/> 見直して実施  <input type="checkbox"/> 事業を終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNSやインターネット媒体を活用した広報を重点的に行った結果、これまで課題となっていた20代～30代の用途の認知度が向上した一方で、50代～60代での低下が目立つ結果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県政モニター調査の結果、森林整備の前後写真やデータ、優しい表現による説明など、「成果が視覚的に伝わる分かりやすい情報」が求められていることが明らかになった。</li> <li>○ 認知度の低下がみられる50代～60代をはじめ、各年代に応じた媒体の活用に加え、写真や図表の積極的な使用、専門用語を多用しない平易な表現等、県民が森林税の用途や取組への理解を深められるような広報を実施する。</li> </ul>

県民会議・地域会議等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
-----------------	--